

田人地区 地域おこし協力隊

ちーの山暮らし物語

6月号

こんにやく芋の植え付け

五月一日は八十八夜でした。田植えの準備の為に湛水が始まり、風が吹くと、土と水が混ざった匂いで一帯が満たされています。夏も遠くないですね！こんにやく芋は田植えの頃に植え付けします。

今回はMさんの心の込もった種芋をいただきました。田人のこんにやく文化を絶やさない為に、Mさんは四月から芋を選別、植え付け、土寄せを行い、冬になったら、芋を温かいハウスに入れて籾殻の中に保存します。毎年、同じ作業を繰り返します。

私もそのこんにやく文化を引継ぐ為に、Mさんと近所のYさんの指導を受けながら栽培を始めました。

ジャガイモの植え付けと同じように溝を掘り、生子、一年、二年、三年芋を順番に植えました。光合成の為、葉が伸びてきたら重ならないよう、葉の日陰で土が乾燥しないよう、芋の大きさにより、大体五十から七十センチまでの株間で植えました。どんなこんにやくができるのだろうかドキドキしながら、楽しみにしています。



お米の種まき

福島県は、粘土質の地域が多く、ミネラル豊富な水が流れ込み、美味しいお米の栽培環境が整っています。

今回は、Hさんの田んぼでお米の種まきの研修をしました。Hさんのところはコシヒカリと粒がしっかりして、香りがたち、冷めてもおいしい福島オリジナル品種「天のつぶ」を育てています。

Hさんが事前に浸種作業を行い、その発芽した種籾を機械でまきました。この機械は育苗箱に土と種と水を同時にまくタイプです。育苗箱を一つ一つコンベヤーベルトに入れて、できた箱をハウスに運んで育苗シートをかけました。約二、三週間経ったら、田植えができるようになるそうです。

Hさんとご家族は育苗期間の温度や水分管理も大事にしています。その心の込もったお米はとても美味しかったです。

将来はお米も作れるようになります。貴重な機会でした。Hさんに感謝します。



キャベツの定植

三月に味噌作りを行った可愛く優しいYさんのお家では、様々な野菜と伝統料理を作っています。Yさんの家に行くと、畑の景色や温かさのいっぱいある料理で幸せが溢れてきます。いつもYさんのお陰で色々なことができています。

四月中旬にYさんからキャベツの苗をいただきました。Yさんのハウスの中で種から育ててきた苗です。私の住んでいるところの気温はYさんのところより温かい為、苗を貰ってから三日間で環境に馴染み、早速、マルチを張ってキャベツを植え付けました。アブラナ科の植物は虫に食べられてしまうことが多い為、防虫ネットもしっかりと張りました。

ひと月過ぎ、キャベツちゃんの根っこが土にしっかりと張り、葉っぱも大きくなっています。どんな味がするキャベツができるか楽しみにしています！



謎のコーナー
知りたかったら
田人へ
おいでちょ！